

特集 みのりの季節に

自然のみのりの季節は、又、私たち人間の活動にも適した時です。

学校もPTAももりだくさんの行事をやりとげました。皆さんはいかがでしたでしょうか。

今回はそれらのご報告を致します。ご参考になればと思います。



私も二人の子供をもっているものでその体験の話をしたい。
最近の子供は、勉強はしないし辞書をあまりひかないという話を聞きますが、父という字をひくと「子のある男子」とあり、「母」という字をひくと「子のある女子」と、のっている。
生涯教育という事がいわれるが、本日の両親学級も、生が教育の

家庭における父親・母親の役割

講師 三重県生活環境部長 戸田 陽氏

一つである。

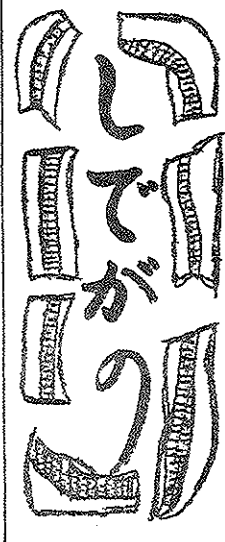
私達の、家庭教育は、はじめはしろとうである。ある日しろとうの父親と、しろとうの母親としろとうの子供からはじまる。

家庭教育は、父親は父親なりに母親は母親なりに、自信をもって事にあたるべきである。本来教育は、自らを教えるだけが、せい一杯であり、他人に教える能力は人間にはない。しかし子供のしつけは親の力である程度は、変える事ができる。

病氣は自然治癒が基本であって薬を付けるのは、ちよっと手をかすだけである。教育も同じである。子供の教育は、母親だけではいけない。父親には父としての役割があり、母親には母なりの仕事がある。

ある。子供が泣けば、父親も一度だけあげるだけでも父親として合格である。最近、共働きや、美容の関係から、母親は母乳をやらずに人工乳を与えるケースが多い。父も一回ぐらいは、夜、ミルクを沸かして飲ませても良いのである。このような気持をもって、母親に協力してやってほしい。

夫婦は互いに協力すべきである。第二次世界大戦の時、戦地で死ぬ時に、天皇陛下ばんざいといったというが、これはうそらしい。九十九パーセントの人が、お母さんばんざいといって死んでいった。父は子が生めないから、月給運搬人といわれている。これは母の為、子の為に、月給運搬人になりさがらなければならないのである。



しでがの通信

第 56 号

羽津小 P・T・A

編集発行

発行所 羽津小学校

目	次
家庭における父親・母親の役割	1
古都の旅	3
両親学級懇談会	7
陶芸教室見聞記	10
バザーを終えて	11
常任委員会だより	12



5問	毎月「学校給食献立表」が届けられていますか。 読んでおられますか。	1	0	26	48
6問	今後給食だよりにどういう記事を見ますか。	1	20	25	24
8問	(1)給食内容についての説明 (2)新しい献立の紹介 (3)四季の食物の解説 (4)その他	1	20	25	24
9問	献立表の活用について (1)その日の献立が夕食と重ならないように気をつける (2)給食とは関係なしに夕食をつくる。	1	20	25	24
10問	本日試食した給食についてお答え下さい。	1	20	25	24
(A)おもしろかった		1	20	25	24
(B)普通		1	20	25	24
(C)まずかった		1	20	25	24
お子様の給食費と給食内容について		1	20	25	24
(1)このままでよい		1	20	25	24
(2)もう少し給食費はあがってもよいものを食べさせて欲しい		1	20	25	24
(A)月額二百円ぐらい値上げしてもよい		1	20	25	24
(B)月額五百円位値上げしてもよい		1	20	25	24
(C)月額千円位値上げしてもよい		1	20	25	24

古都の旅

(修学旅行の思い出)

11月15日～16日

修学旅行

六十一 小川 千恵子

十一月十五日、待ちに待った修学旅行だ。目的地は、日本の代表的な都市、京都だ。前に家族で行った事があるが、今回の気分は、又格別だ。

特に印象に残った所を書いてみよう。まず平安神宮、ガイドさんの説明で、大極殿の様子がよくわかった。かわらは、清水焼で緑色をしていた。一つ一つがていねいに作られている感じが感じられた。清水焼は京都の伝統産業の一つとして、全国にその名が知られている。又、応天門は、昔こうぼう大師が書いた「かく」が、かかっていたそう。しかし「かく」を掛け終ってみると点が一つたりませんでしたので、
(こうぼうも筆のあやまり)
と言う言葉はここから来たのです。一日目最後の日程平安神宮も終り石長旅館に着いた。五階建ての立派な建物だった。私は、かっこ悪い所を見せまいと思った。「羽津小学校の子達は礼儀が正しい。」と思ってもらいたかった。あれや、これやしているうちに、最も楽しみにしていた新京都極楽、京都だけに名産も多い。八ッ橋、宇治茶、生八ッ橋、五色豆、京人形、京せんす、京友せん、からかさ

の意味で先輩に対して素直であってほしいし、自己の人間性の向上に對して、子供達は子供達なりに自覚と積極性をもってほしいものだと思った。

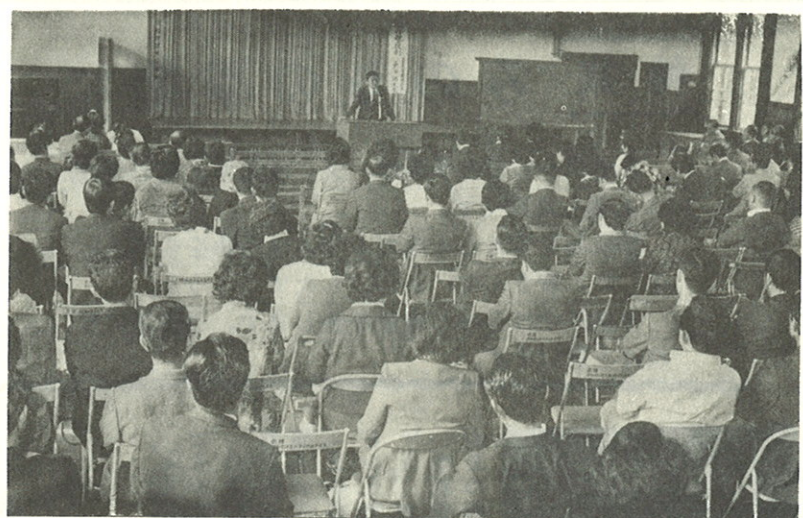
給食試食会

去る十月二十五日福祉保健部・母親部・合同主催のもとに、約百名(一年生の父母)の出席者で講堂において行いました。

その時に給食についての「アンケート」をとりましたのでその結果を発表致します。

1問	給食をよろこんで食べていますか。	1	7	65
(1)毎日喜んで食べてくる。		1	7	65
(2)しかたなしに食べてくる。		1	7	65
(3)食べるのが苦痛のようだ。		1	7	65
(4)さらってはいないが量が多過ぎて残す。		1	7	65
2問	パンについて	1	7	65
(1)毎日全部食べてくる。		1	7	65
(2)ときどき残してくる。		1	7	65
(3)ほとんど毎日残してくる		1	7	65
3問	給食以外に家庭で牛乳を飲んでいますか。	1	7	65
(1)飲んでいない		1	7	65
(A)一日一本		1	7	65
(B)一日二本		1	7	65
(C)一日二本以上		1	7	65
(2)飲んでいない		1	7	65

「GHQ」いう頭文字があるが戦後はこれは、在日米軍司令部の略であった。最近では、ゴーホーム、クイックリー(早く家に帰えろ)の略である。しかし男は、なかなか家には帰らないのである。このような性質が男性にある事を女性、よく覚えておいてほしい。しかし、妻のお産の時は、男は役に立たないといわれているが、役



は、嘆かわしいほどに若い。若い母親がツメをのばしてくると「子供のオムツは誰がかわるのですか」と話をすると、翌日はツメを切ってしまう女性が、多いとのこと。このように、母親は子供中心になり、愛情は結ばれていくのです。この親の子は、きっと良い子になることでしょう。

にたたくなくても、その時ぐらいいは早く家に帰ってやってほしい。又、つわりの時ぐらいいは、早く帰ってやろうかなと、男は思うだけでも必要である。最近の両親の役割として母親はアイロンかけ、育児指導、子供の入浴、勉強の相談相手、掃除、結婚の相談であり、父親は、日曜大工、子供を叱る叱り役、就職の世話であるようです。最近の父親は、どうも子供のことは母親まかせになっている。この辺から母親が教育ママになってきているのである。友人の医師が、いつか母が、最近の母親は、嘆かわしいほどに若い。若い母親がツメをのばしてくると「子供のオムツは誰がかわるのですか」と話をすると、翌日はツメを切ってしまう女性が、多いとのこと。

このように良い親子が、できれば、二十一世紀は、すばらしい日本に、三重県に、四日市々に、又羽津になるだろうと思います。講演を聞いて 岩田 英郎 両親学級の懇談会を終って戸田先生の講演を聞いた。「家庭における父親・母親の役割」について、ユーモアをまじえながら話される話題の中に、先生の謙虚な人生観がうかがわれ興味深かった。先刻まで懇談会で、子供の教育について、とくに父親とのふれあいについて考えさせられてきたばかりなので、講演の内容はその続きとしてぴったりのように思えた。氏は国語辞典から引用されて、父という言葉は「何々の父」と使われるごとく、その道の先駆者としての意味があることを述べられたが、自分が子供達に對して、父親として、人生の先駆者として、精神的な糧となっているか考えるとまったく自信がもてなかった。父親は所詮、子供達にとって道化役者なのかも知れないが、でもれっきとした人生の先輩でもある。父親は先輩として、時には子供達にきつた態度でのぞみ、非があれば厳しく論し、萌芽は伸ばしてやらねばならぬ。子供達はそ

修学旅行

六二一杉村雄三

待ちに待った修学旅行が来た。十二見学したなかでも、二条城、清水寺、梅小路蒸気機関車館の三つが印象に残った。

二条城の中は、とても広かった。それに、うぐいすばりのろう下は歩くと、ほんとうに鳥が鳴いているような、やさしい音がした。パスガイドさんの説明によると、くぎがうまくうってあると、説明してくれた。何よりもすばらしいのは、へやの一つ一つが、ぼくたちの学校の教室くらいあり、金箔がはってあったことや、厚さ三十センチもあるらん間があったことだ。それに庭も美しい。今ではこのような造り方は、どんなすばらしい大工さんでも、できないだろうだ。それなのに、しように穴があいていたり、らく書きがしてあった。このようなすばらしい文化財は、みんな守っていかねければならないのにこんなことをする人にむしうに腹が立った。

清水寺では、石に大きな足あとがついていた。これは、おしゃか様の足あとだと言うことだ。それにべんけいのはいたと言う鉄げたがあった。このげたの重さは、両方で十四キロもあるそう。昔の人の力の強さがよくわかった。その

れに清水のぶたいは一本もくぎがつかわれてなく、みなさしこみしきになっている。昔の人はすばらしい。

蒸気機関車館では、全部で十七台も、SLが展示されている。十六日の十一時から走るのだったが、見られなかったことが残念だった。SLは、今の汽車とちがって、ほんとうに、力強い感じがした。それに、SLがけむりをはいているところは、今まで見たことがなかった。昔の人は、このような、すばらしいものを、うみだすことができたので、想像できない頭脳をもっていたのだなと思った。二条城といひ清水寺といひとてもすばらしかった。なんだから京都の町をはなれるのが残念だなと思った。

東映太泰映画村

六二一三 永戸 美由紀

映画村の中に入って、少し進むと、ちよつとむこうに 日本橋が見えてきました。

日本橋を 半分渡って 一息いたら あと半分が 階段になっていたのに 私は、驚きました。それと劇などを撮影するまで 何回も何回も同じことばかりやってテレビの画面に写ることでした。その日 運よく 撮影しているところが、見れました。テレビで見慣れた人がいて、その人たちが

町役人と けんかをしているところ、は、かっこいいものでした。

マンガと幻灯の館では、いろいろなしくみが あって 物語などで出てくる電車の中の場面は、一つだけ席があって窓は、テレビの画面のようになっていました。電車内全部を 撮影するときは、本物の 電車を使うのかなあと 今も 疑問に思っています。でもその時はその時で ちゃんと電車の形をした物を 造るのだろうと思います。

私は、映画村へ行って 心に残り楽しかったです。

十五、十六日という二日間が、とっても早く済んでいったように思えました。

でも、とっても楽しい二日間の修学旅行でした。

修学旅行

六二一三 九鬼 史英

集合時間六時四十分。二百二十人の生徒があつまり、校庭がたちまち活気にあふれる。整列したばかりのバスに乗り込んだ。国道一号线から東名阪道路、名神高速道路とバスは京都に足を進めた。それから、見学先の平等院、そして桃山城で昼食を済ませ、午後は二条城、金閣寺、平安神宮と今日の見学はこれで終わった。旅館に着いたばかりは、もうタ



タタミ。とはいかない。もう今まで以上の力であれば良かった。新京都での買い物もみんなの楽しみの一つだ。京都の中心部のけしきはどうかな？なんて思いながら新京都に顔を出すと、けしきなんてものじゃない。どこを見ても人、人、人、上を見れば空の星よりネオンの星というしまつ。ここで適当に買い物をして、また旅館に帰る。いよいよ恐怖の消灯。

始めは少ししゃべったくらいで三十分ほどたつて、みんなが寝はじめたころ、突如予想どおり、まくら投げが始まった。まくらのついでにふとんも飛んできたりした。その日はようやく寝しずまった。さて二日目。七時三十分この旅館と別れを告げ、バスで再び京

修学旅行

六二一三 荒木 達弥

楽しみにしていた修学旅行が終った。今でも思い出すと「ふっ」と、わらえてくることがある。

一番おもしろかったのは、旅館のことだ。夜、ねようとした時どこからか、まくらやふとんカバーが飛んできたり、だれかが「プー」とおならをふったり、「ママーおちっこ」などとねごとを言ったりして、おもしろい。

先生が見まわりにいらっしやると、みんな、わらえてくるのをがまんして、たぬきねいりをしていた。ぼくは、ねむれなかったので時々

みんなを見てみると、もうみんな自分のふとんをどこかへやって他の人のふとんを引っぱっている人や、人のおなかの上や、顔の上には足をきだしてねいている人がいた。こんなばかみいたことでも、ぼくにとっては、一番いい思い出になった。

このことは一生忘れないだろう。

修学旅行

六二一五 伊藤 幸子

六年間の希望を持ち十一月十五日・十六日と一泊二日にて、古い都京部に足を向けた。

七時に学校を立ち、そして九時五十分に目ざす京都に着いた。

外国人としゃべった二条城、赤い屋根の大きな建物、平安神宮……。

でもなんといつても旅館の中の生活やお金を気にしながらの買い物などが、楽しげに残っています。

十六日、清水寺の舞台からのそ

うかいながめ……。

千一休のほとけ様とにらめっこ三十三間堂。

そして私が一番見学中に印象に残ったのは太泰映画村だった。いろいろな役者に会った事や今まで知らなかったいろいろな事をその時知ったからだ。それを最後に私は京都と別れた。バスの旅は長

く楽しかった。バスの中は明るく歌声、しゃべり声でいっぱいであった。一日目は少し雨に降られたが二日目はすがすがしい日であった。それだけにいい旅になり、学校生活での思い出の一つと心に強く残るだろう。

修学旅行

六二一四 橋本 房子

私達は、十一月十五日・十六日と京都へ修学旅行に行きました。私は、その中で夜の新京極と東映の映画村がとて印象に残りました。

新京極には、他の修学旅行で来た高校生の人達もたくさんいて、とてもにぎわっていました。私は、どんな物を買おうかとても迷いました。そのうちにだんだんと時間が過ぎ、急いで家族や親せきのおみやげを買いました。集合場所にもどったら友達がおもしろそうなのを持っていったので私ともう一人の友達がほしくなったのでこっそりとぬけていそいで買いに行きました。そして旅館にかえってから

もっと買えばよかったなと思いましたが、もういいです。

東映の映画村では、ロケをしていました。私と友達は、ロケをしているのを見たのは初めてなので私たちの班は、ほとんどそのロケを見ていました。だからあまり他

修学旅行

六二一五 柳山 修

十一月十五日ましまし修学旅行の出発日。そしてバスは発車。バスの中ではうるさいほど楽しくやっていた。よった人もいたけれどもそれでもなんとか。

見学して回った所は日本の古い文化が造り上げたすばらしいものだった。ぼくの一番見学してよかった所は、清水寺と平安神宮だった。そしてなんといつても楽しかったのは旅館だった。みんなもそうだろう。

この修学旅行は、きつと、いい思い出になることだろう。

手作り講習会 に参加して

小井 栄子

食品添加物の有害、無害の問題
又、物価高が騒がれている今日こ
の頃、手作りの良さが見直されて
まいりました。何でもお金さえ出
せば手に入る、その反面人体に有
害な物も多分に出回っていると思
います。

この夏の事です、学校の家庭
科教室におきまして、ラクチス(カ
ルピス)と、手打ちうどんの作り方
をおそわりました。ラクチスは、
一度の分量がビール瓶に二本と少
しで、四百円足らずで出来、とて
も経済的、私の子供達はカルピス
類が、とても好きですので、作る
たびにとても喜んで「あっお母さ
んカルピス作ってる」とそばによ
って来て、出来上がるのを楽しみに
待っていました。一日は冷蔵庫に
入れずに置くと味に丸味が出来、
一層美味しさを増すのですが、子
供達はいっこうに、おかまいなし
で、「おいしいおいしい」と飲ん
でいました。友達が来ると、「こ
れお母さんが作ったカルピスやに」
と得意げに話していました。
それからうどんなですが、これに
はスキムミルクが入っています。こ
れが入る事により、以前のように

あまりこねずにすむとの事です。
又、栄養面に於ても、優れている
ようです。一見乳臭いのはと、
思われますが、そのような事はあ
りません。私も一度作ってみまし
た。太いのやら細いのやら、ゆで
る時間が足らなかつたのか、少し
固いようでしたが、子供達は、お
世辞半分と思いますが、「おいし
いネ」と言って食べてくれました。
ラクチスの方は簡単ですが、う
どんの方は時間もかかり、手間も
かかりますが、又このような機会
がございましたら、皆様方も、ぜ
ひ習っていただいて手作りの良さ
を、味わっていただけたらと思
います。

工場を見学して

河野 紅子

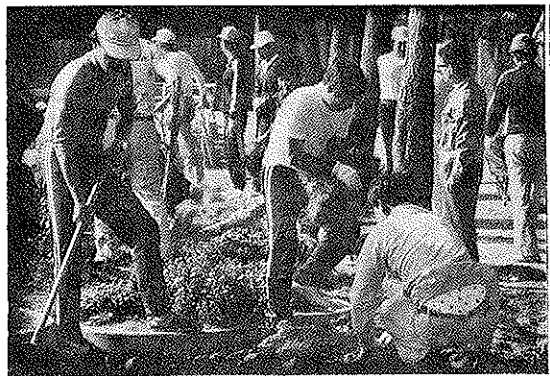
十月初秋さわやかな一日、私
達は東海市にある中京コカ・コー
ラ工場へ見学に出かけました。
今でこそコカ・コーラと言え
知らない人はいないでしょうが、
私が小さい頃は外国小説の中で時
々見かける程度で何か洋酒かカク
テルの様なものと思っていました。
そこでコーラがいつ、どこでと
言うことになりましたが、一八八六
年(90年前)アメリカのアトランタ
(「風と共に去りぬ」で有名な)

環境整備作業

を終えて

森 憲一

過日(10月31日)行なわれまし
た花壇の芝張り作業には、部員さ
ん、先生方、本部役員の方、総勢
40名ちかくの皆様、お世話にな
りありがとうございました。
本年の目標である各事業が、と
どこおりなく終えたことを、お礼
申し上げます。各作業を通じて、
部員の皆様が、定刻前より熱心に
精一杯作業していただき、私のよ
うな若輩者を盛りたてていただき



ましたことを、嬉しくこれを御縁
に、又何かの機会に自分なりに努
力して、御恩返しをしていきたい
と思います。

両親学級懇談会

=各学年毎のテーマでの話し合い要点=

四年 前回のアンケート

に基いて

(主としてお
父さんにつ
いて)話し
合った。

- 「お父さんにやってほ
しいこと。」
イ遊んでほしい 13
ロ旅行につれて行っ
てほしい 6
ハ運動をしてほしい 6
ニ人に親切にしてほ
しい 6
ホその他
三お父さんにやめてほ
しい事。

- イ酒
ロおこるごと
ハマーじゃん、パチンコ
ニおなら
ホその他
三自分が今やりたい事

- イ野球がやりたい 7
ロプラモデルを作りたい 7
ハ自然観察 4
ニ勉強が出来るよう 4
ホその他 4
四親子でやりたい 11
イ野球 9
ロ遊び(キャンプ等) 9
ハ何かを作ること(プラモデル) 4
ニ運動 3
ホその他 9

全般的に子供の要求に
う努力されている家庭が多
く子供との対話はなされて
いるが時間的に十分満して
やれないが両親が協力して
埋めて行くよう努力されて
いる。又どの家庭でも一個
の社会人としてのしつけを
身に付けさせる必要を感じ
ておられる。それに親身が
常に模範となるよう努力
する必要がある。

五年 親子のふれあい(生活全般)

イ遊びについて
友人との遊び時間が少なく家
での孤独な遊びが多い。又、お金
を使いやすく小遣いの金額も
多い。(月三千円位)、その原因
の一つに遊び場が少ないことも
考えられる。
ロ体力づくり
現代っ子は体力が劣る。学校側
でも、裸足、薄着等を勧めて
ほしい。
ハ親子のふれあい
子供を信頼し、体でふれ合う生

活を心がけている。(一緒に風呂
に入った折一日の出来事を話
合う)
最近では非行化が低年齢化して
いるが羽津地区は比較的に少
ない。
現在の販売機(マーケット方式)
による出来心が多い。それにつ
いても小遣いが問題であるが、
これは使い方の指導が大切であ
る。非行化防止にクラブ活動、
スポーツ少年団等がこの活動
を通して友人も出来、エネルギ
ーもそちらに集中消化して好ま
しい。
又何か自分が将来打ちこめて
楽しいものを身につけさせるの
は人間形成上も大切であり親
の義務である。

六年 非行化防止

イ共働きの家庭では留守中の
行動を親子の対話を通して何
時もつかんできていることが
大切。
ロ子供の交友関係を知らず
が子を知ることになり、友達
の大切さというものを理解さ
せて育てたい。
ハ食事のしつけ
勉強中の姿勢等も家庭だけで
なく学校からもきびしく指導
してほしい。



父親の教育関心度調査

二年級委員

年に一回の両親学級、ふだんは母親任せの父親も、学校での子どものようすを一目見ようと、暇を見つけて学校へ……今回は父親を対象に「父親教育関心度」調査を参考にとつていただきました。

父親の教育関心度調査集計

1. 家庭でのしつけは	父親………3%
母親………44%	両親………52%
2. 家庭での勉強は	父親………4%
母親………16%	両親………77%
3. 学校や友人の事を尋ねる	よくある………19%
時々………75%	ない………6%
4. 教科書やノートを見る	よく見る………12%
少し………67%	ない………2%
5. 学用品や本などをかう	よくある………11%
時々………46%	ない………21%
6. 質問を受けたとき	よくわかるように説明する………37%
答える………59%	

7. 答えない………4%

子どもと一緒に作業や遊びをよくする………28%

8. 子どものための旅行

計画のみ………13%

9. 子どもへの関心

十分あり………43%

10. 子どもへの期待(人格・職業)

独立・好きな道・進学等

よく話した………23%

あり………41%

ない………37%

今回の懇談会は日曜日のせいか、各学級とも父親が多く、中には「勉強しな」「しな」とうちの母さんは「しな」がちよっと多すぎるのでこまると苦笑する父親。学習、しつけ、など各々の教育観等活発な意見が出された様です。子供の教育はどの家庭でも母親が多く父親は無関心の方が多く、それでいて子供は「お父さんはこわい」という子供が多い様です。毎日忙しい忙しいと言って子供と話しするひまさえない我々父親は、何か考えさせられました。忙しい中ちよとしたひまを見つけて子どもと一緒に話し合いの時間を持ちたいものです。

折角各学級共、活発な意見が出され、なごやかなふんいきの中間が足りなかった事、非常に残念に思いました。

子供の生活

宇野 勝

「一年生、何んときわやかさを感じる言葉ではなからうか。社会人になって十五年強縁がなかった私も授業参観で登校するとは、年令を考えると今日この頃である。

自分の頃を回想してみますと、生徒までもなく父を失った小学生時代の参観日なんて淋しかった事ぐらいしか思い出せない。幸いな事に戦後まもないのとあわせて山陰の田舎学校であった事がせめてもの救いであつたように思う。

ところで小学校も随分変わったものである。まず校舎に入つて、壁新聞におどろいた。アメリカ大統領選挙……。小学生で世界を学ぶ時代なのか、そう言えばテレビ番組にも「子供ニュース」なるものがある時代である。

また最近の教科書、雑誌等を見るに、一年生とは思えないレベルの高い内容がしばしばである。ふろくにしても高度なものであるがほとんどが完成品のような気がしてならない。作る楽しさよろこびと合わせて、原理構造を考えさせる教育を小学生時代に身につけさせ

せてほしいものである。

両親学級に参加して

今野 浩延

三年生の国語の授業を参観しました。子供が親と先生の出席者があり親と子供と先生の出席者があつた。我々父親はどの方も、商売に、会社勤めに、毎日忙しい時を過ごしておる為、子供の教育に無関心になりがちだと思ひますが、本日の参観により先生の教育の仕方その内容を考えると、子供の家庭内にあつての教育については、健康な身体及健康な精神作りは、しっかりした言動、先生の言われる事をよく聞くこと。

復習、予習の励行、等を主体に、基本的な事を教えることにより、我々の成長を見守つてゆけば良いのではないかと最近、塾通いの子供の多い傾向の反省も踏まえて、考える次第です。

「親子のふれあいについて」

服部 邦子

一年生の懇談会のテーマの一つで、今回は、両親学級のこととして父親の立場からの発言が活発でした。

子供との接触も、ふだんはお仕事の関係で、なかなか思うにまか

し て が の

せず、日常の細々としたしつけはお母さんにまかせ、大筋の肝心のポイントをお父さん、という感じでした。

休日には、できるだけくつろいで、子供との会話を楽しんだり、キャッチボールをしたり、親と子の縦の関係だけでなく、家族の仲間としての横のつながりも、心得ていられ、ほほえましく思ひました。「親子のふれあい」は、こうあるべきだ」という定義はあるものでなく、各々の家庭で、それぞれに努力していられる様子で、とても参考になりました。

今後、高学年、中学、高校……と子供の成長につれ、いろいろ、むずかしい面もでてくると思ひますが、このような心がけを持続していけば、「親子の断絶」という言葉も、きかれなくなるのではないかと、つくづく思ひました。

両親学級に出席して

川村 勝

日頃は、学校及び子供のことに ついては、妻に任せきりであるが両親学級と言う事で、初めて学校の様子を、じかに見て感じたこと、考えさせられたことを、少し書いてみたいと思ひます。

始めに学習参観について感じたことは、たまたま算数の学習を、

見せてもらいましたが、基礎的な問題から応用問題へと入り、始めの方はできる生徒が大半であつたが、問題が進むにつれて手の上になる数が少なくなり、いま問題になつて算数ざらいの子供が多くなるという一面を見たような気がする。

次に懇談会について五年生のテーマは「親子のふれあい」と、言うことで話し合い出席者は三分の二が、父親のせい食事など、いっしょにできなく、話し合う場が少ない。又子供達の口答えや、わがままが多くなつてきて、困つていふと言ひ意見が多く出された。

それについて二つの問題があるのではないだろうか、それは「親のエゴに対する子供の反発」、もうひとつは「子供の成長による反抗期」に入つて来たためではないか。それを理解するには、数多く話し合いの場をもち内容も子供が大きくなるに従つてかえていかなければいけないのだと思ひました。

両親学級の懇談会の雑感

島田 晃明

私達父親から見ますと、お母さん方は毎日の子供達の食事の用意でも、子供の好きそうなものをいろいろ手をかえ品を変えて、同じような素材でも様々な調理の工夫をしておられ、子供たちの栄養に

ついてもいつも心を砕いておられ有り難く感謝しております。

この感謝の気持ちには偽らざるものでありながら、父親はつい子供と違つて、油こいものは嫌いだとか、○○○は嫌いだと言つては、なかなか箸をつけようとしてないことが多いようです。お母さん方の苦労もこうした父親のわがままから、先ず直して欲しいという願ひについても深く反省させられ、やはり子供の鑑にならなければならぬと思ひました。尚テレビの視聴についても父親はよく寝そべて見ていながら、子供には正しい姿勢で見なさいとよく注意する父親。……。そうした父親は、「おとなと子どもとは違うんだ。子供はこれから大人に成長していくのだから。」と。どうもこれも詭弁のようですね。

こうして書いてまいりますと、父親のわがままが随分目について来るように旗色が悪くなつて参りますが、一方では、子どもとキャッチボールをしたり、魚つり、将棋、工作等々共に遊んだり、労働を共にしたりできる父親に子供達が限らない頼もしさを感じ取つていふのも確かなようです。こうした心のふれ合いを通して、子供達の成長に共々期待したいと思ひます。

両親懇談会に出席して

本坊 哲郎

子を持つ父親とは名ばかりで、常日頃から子供の教育に全く無関心な、そしてすべて妻まかせの私が、初めて妻に代つて、両親懇談会に、恥を忍んで出席する機会を得ました。

懇談会のテーマの一つで有つた、子供の非行化防止とスポーツとの関係について、特に関心を持った。何故ならば、私自身意外とも思ひた小学生の非行化補導件数の、余りにも多い実体を知り、いささか驚嘆した次第である。

紙面の都合で多言は出来ないが、この事について、最近私は、スポーツを通して、子供との心のふれ合いを、無意識のうちに覚え、改めてスポーツとの深い深い関係を、悟つたわけである。

スポーツを通じ、時には話相手になり、友達にもなり、又時にはけんかもし、良い意味での喜怒哀楽の入り混じる、楽しい毎日がある。今迄の、私の無関心を恥じ、あはれはわびて、その償いの意味でも、スポーツを通じ、子供の心を出来るだけ理解してやりたいと思ひます。そうする事で、子供の非行化防止に、少しでも役立ってくればはなはだ幸いである。

学級懇談会に出席して

六年 久志本孝子

日曜日に行われた学級懇談会の中で特に非行化防止については「補導結果表」に基づきお父様方からの意見、経験談が色々聞かれ親としての責任と家庭教育のあり方を痛感致しました。小学生はまだ

陶芸教室が十一月十九日、二十日の二日間、木村宗一様を先生にしてひらかれましたので、ちよっとのぞいてみました。
……やっています。粘土をこねて

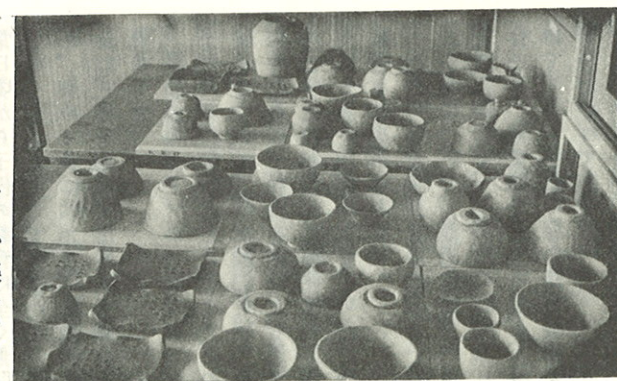


いる人、ろくろにのせて回している人、底をつけて仕上げ中の人、先生に見てもらっている人。
皆エプロンがけもりりしく、手をどろだらけにして奮闘中です。抹茶碗、かし鉢、小鉢、湯のみにさかずき、はしおきと作品がどんどんできてゆきます。粘土のか

陶芸教室見聞記

は基礎からていねいに手をとって教えて下さっています。ほど原型ができるまで水にひたしたラシャ布や指で形づけ、先生の指がろくろの上の茶わんにすっとふれて、たちまち形がととのえられてゆく。
きのう作った形の仕上げをしている人、底をつけととのえて名を入れる。これを半月ほどかわかし

あい」が一番大切な今日では、時々々は教科書を父兄が読み、親の方から話すきっかけを作り金銭の使途、鍵っ子、地区外の外出、家庭のしつけ等に関心をもち、精神的肉体的にも成長期の過程の子供を持つ私達父兄は、母親まかせでなく父親と共に一層真剣に考えて今後の道を踏み誤まらない様見守ったまりを糸で切り、手で丸めてまん中をくぼませて、ろくろにのせ回しながら色々の形にする。「はじめが肝心ですよ、厚さを平均にゆがめぬように。土は素直ですよ」との先生のおことば。みているとすぐできそうなのにどうしてなかなかむづかしいらしい。でも先生



創り出すよろこびに、楽しいひとときをすごしていました。
来年はぜひ参加してみたいと思いつく帰りました。
(寺本)

バザール

坂倉俊枝

秋深い十一月六日午後一時三十分の校庭。
開場を待ちかねて正門近くまで並んだお客様の列。
「お待ちせ致しました。さあどうぞお入り下さい。」
同時になだれこむ人の波。
「ウーリン」と広い講堂に響く人々の声。

今年は六年生児童によるポスターの宣伝効果もさることながら、皆様のバザーによせられた大きな期待を物語る光景でした。



やはり主力は万古製品で、食品から衣料、日用雑貨、心のこもる手芸品に至るまで、バラエティ豊かに陳列された一万点以上の品々。
これ偏に会員はもとより、地区業者の方々の御理解ある御力添えと深く感謝しております。
この大量の品物も、約二時間で余すことなく売りさばき、迷子が出るほどの盛況ぶり、五十六万六千三百五十三円と予想以上の収益が得られましたことを心より厚く御礼申し上げます。

尚、皆様の善意の結晶である収益金は、学校施設充実のため有効に役立てゝいただきます。

今後共よりよいPTA活動を目指し、皆様の御協力を得まして一層の努力をして参りたいと思ひます。

立派な人になってほしい

城山町 藤井 泰

「夏休み中のラジオ体操について」子供は体力強化の為に体操は、真剣に行うよう指導をし、又体操後五百メートル程のマラソンをさせたが、私も見本の為にいっしょにやり、大変たのしかったです。

七月二十五日、八月十四日、二十九日の三回、ラジオ体操をする公園の草取りや掃除をさせました。子供に「公の公園を君達が使うのだから、きれいにしておくのは、当然である」という主旨を話をし、理解を促してもらった。

子供達がねむけ眼をして大矢知街道を通るのを見て、交通事故の発生を心配して、会員の皆さんに立哨をお願いして、二週間程続けましたが、反対意見があつて、残念ながら中止しました。反対者に対しての私の意見は「事故防止も大切だし、又自分の子はどのようにしてラジオ体操をしているかを見る機会が、一日ぐらいあつてもいいじゃないですか」という事で

てゆかねばならないと深く反省させられる懇談会でした。

今後は親の未知の世界での出来事もあり、こうした懇談会を持ち先生と父兄とのつながりを親密にして、子供の健全な成長と教育を進めていきたいと思ひます。

す。「今想うこと」

町内の子供は私に挨拶をしてくれるようになりました。そして想う事は、子供会の世話をさせて載って子供と心が通じあうようになって良かった。この子供達が、将来健康で立派な人になってほしいと、心より祈るものです。

町別懇談会

羽津第二 松永 実

町別懇談会は先日、羽津南会館において、校長先生、教頭先生をはじめ、本部役員(市林・森部長)父兄三十三名全員が集まり開催した。

△テーマ▽

①子供の交通安全について

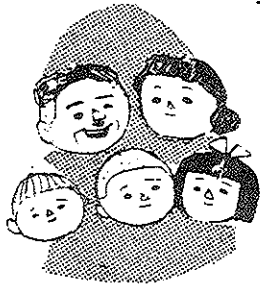
②非行化防止と教育について
◇まず毎朝の立哨時、災害には至らなかったが、それに似た「ハット」「ヒヤリ」事故が、身近に発生してはいないだろうか。

「右側通行を守る」非常識なドライバーがスクールゾーンに入ってくる」「自転車の手ばなし及びジグザグ運転」「他の自転車と並んで走るなどあぶない乗り方は、やめよう」交通ルールを守る運動を広め、子供達の交通事故を町ぐるみで防止しようと建設的な意見を出し合った。

◇休日や下校後友だちの家へ勉強しに行くのは、ほほえましい。何

不自由もさせず「のびのびとした子」に「たくましい子」に育てよう結構なことにちがいない。

特に注目すべきは、友だちの家での勉強の自身が、スーパードの万引であつたり、個人の非行から集団へと移行している。そんな例は多い。また「自分の子供に限っては……」「きつと友だちが悪いのよ」との甘い考えを捨てるとともに、他家の子供の非行化を発見したら「勇気」を出して適切な対話指導に当って頂きたい。非行化防止の一環として、子供たちに運動を通して集団の一員としてのチームワーク・忍耐力・リーダー性が自然に身につくようになると思ひます。又家族そろって、町ぐるみのレクリエーション大会等、色々な行事参加について話し合ひたい。初めての町別懇談会であつたが活ばつた発言があり大変有意義な懇談会であつた。



常任委員会だより

◎ 去る九月六日（月）午後七時より第五回常任委員会が開催されましたので次の通り御報告致します。

一、会長挨拶

二、協議事項

イ 八・九・十月の各専門部行事計画と報告（部長より）
・給食試食会、花ダン整備、学習参観、親善球技大会、バザー等
ロ 運動会の件
ハ スポーツ少年団の経過報告（会長より）

ニ 学校行事報告（教頭先生）
三 学校長挨拶

◎ 去る十月七日午後七時より第六回常任委員会が開催されましたので次の通りお知らせします。

一、会長挨拶

二、協議事項

ア 各専門部より活動計画と報告（九・十月分）

イ 交通安全少年団結成の件について
ロ スポーツ少年団後援会結成準備会について
ハ 学習参観と講演会について
ニ 学校行事報告（十月分）
三 その他

三、学校長挨拶

◎ 第七回常任委員会が去る十一月八日午後七時より開催されましたのでお知らせ致します。

一、会長挨拶

二、協議事項

ア 各専門部の活動報告と計画の連絡（部長より）
イ 一日研修旅行について計画することを確認
ウ 学校行事報告（十一月・十二月分）教頭先生
エ その他

ニ 学校長挨拶

※専門部活動報告の中で特に福祉保健部長の山本逸三氏、母親部長の坂倉俊枝氏からバザーに対するみなさんのあたたかい御協力に対して心からお礼申し上げたい旨御報告がありました。

尚、学習参観のあとの講演会では講師の県環境衛生部長 戸田陽氏が、ユーモアをうまくとり入れた「家庭における父親・母親の役割について」という題でお話しをしてくださいました。たくさんの方が熱心に耳をかたむけられていました。

て
すく
さいど

○ 実りの秋 二学期は学校もPTAも行事がいっぱいで活ばつてした。

○ 皆さんにとってどんな秋だったでしょうか。

○ まず参加することがすべての第一歩です。今後共PTA活動に一人でも多くの参加を願ひたいものです。

○ 自分自身真剣に生き、自らを教育することが大切。講演より

○ どのような形でもいい。自分を持つ（保つ）ことなのである。その自分を素朴に子供にぶつけることなのである。もし教育が可能としたら、それが恐らく教育の、最初にして最後の方法であらうと思われる。一 ある著書より

○ この夜長の季節に、一度じっくりと自らをふりかえり、考えてみたいと思ひつゝ……。

○ 投書箱が淋しがっています。給食室前の渡り廊下の黄色い箱です。どんな小さなご意見でも結構です。皆さんの声をお待ちしています。（とく名でよろしい）

○ 年末をひかえ、あわただしくなってきました。忙しさに流されることがなく、心ゆたかにすごしたいと思ひます。